

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業に係る実施結果報告

資料5

NO.	地方創生応援税制 対象事業	事業費実績額	寄附実績額	本事業における重要業績評価指標（KPI）			委員評価			委員質問・指摘事項等	委員質問・指摘事項等に対する対応
		単位：千円		指標	令和元年度目標	令和元年度実績	実績	改善点	総合評価		
1	奨学金返還支援事業	13,225	3,100	指標 看護師、保健師、社会福祉の専門的職業の有効求人倍率（常用フルタイム） 1.50以下	1.50以下	2.22	○	○	B	再掲：総合戦略NO. 18で評価検証	
2	創業支援補助事業	8,247	1,000	指標 創業・第二創業件数（H27年度～R2年度累計） 170件	158件	155件	○	○	B	再掲：総合戦略NO. 21で評価検証	
3	複合文化施設整備事業	3,204,950	1,900	指標 イベント開催時（通年）の入込客数 1万人	—	—	○	○	B	<p>①ネーミングライツの導入は素晴らしいと思う。今後は、その利活用が課題となるので、ぜひ民間のアイデアが活かせる仕組みを作してほしい。</p> <p>②箱が無駄にならないよう、様々な分野で市独自予算で事業展開していただきたい。また、文化の発信基地にふさわしくなるよう事業は直営とし、必要な人材を配置してほしい。施設の維持管理に関しての指定管理としてほしい。</p> <p>③維持管理に年間3億円の赤字が生じると報道されているが、現状でも変わらないのか。指定管理者が維持管理を抑える工夫ができたり、集客の見込めるイベントを組めるようになっていければ良いと思う。行政の積み上げ型の予算の考え方をそろそろ変えていかないと箱モノが沢山作られたので財政を圧迫し続けるのではないかと思う。</p> <p>○今後の維持費が心配である。</p>	<p>①施設の管理運営については、本市における芸術文化の普及振興事業や芸術文化活動を通じて広く芸術文化及び地域の発展に寄与することを目的として設立された第3セクターである公益財団法人石巻市芸術文化振興財団が指定管理者となっており、指定管理者のこれまでの実績やノウハウを活かし、施設の利活用や事業展開を行ってまいります。</p> <p>②施設の管理は、公益財団法人石巻市芸術文化振興財団が指定管理者として業務を実施し、これまでの事業に対する実績やノウハウを踏まえた事業展開を行うこととしております。施設のうち、博物館において、博物館資料の収集、保管、展示といった業務は本市の学芸員が直接行います。また、芸術文化事業における、開館関連事業や文化芸術事業は別途委託業務として予算措置しており、教育委員会は、指定管理者と連携してこれらの事業を展開してまいります。</p> <p>③施設の維持管理においては、指定管理料として年間約2億8千万円程度の経費が必要となり、金額については、今後更に精査を行っていく必要があると考えております。また、現在、教育委員会では多くの施設を抱えている中で令和2年度に策定予定の「社会教育・体育施設等適正配置及び長寿命化計画」において、施設の集約化、複合化などにより適正配置を図ることとしており、それにより管理経費の縮減に努めてまいります。</p>
合計		3,226,422	6,000								

※1 企業版ふるさと納税を活用した事業については、令和2年7月15日に開催した「石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」にて、評価検証を実施

※2 緑字は会議終了後に追加で御提出いただいた質問・意見及びその回答になります。